

第8回瀬戸内市国土利用計画審議会 意見要旨

開催日時	令和4年11月30日（水）15時00分～17時00分
開催場所	瀬戸内市役所2階大会議室
委員 意見要旨	<p>3. 協議</p> <p>(1) 瀬戸内市国土利用計画素案について（資料1）</p> <p>1. 素案全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にいただいた資料と前回の議事録を照らし合わせて見ていたが、よく修正していただけたと思う。私はこれで良いと思う。 ・P5～P 6、P 6～P 7のように、項目の切り替わりとページの切り替わりを揃えた方が見やすくなると思う。 <p>2. 「はじめに」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P1の「はじめに」で示している図について「瀬戸内市国土利用計画」の背景色が真っ黒だと悪い印象を与えてしまう可能性があるため、ダークグレーくらいにしてライトな印象にした方が良い。 <p>3. 第1章「土地利用の現状と課題」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P 3人口の推移について、どのように変化しているか等、もう一步踏み込んだ表現の方がわかりやすくなると思う。 （事務局）⇒表記の仕方について今後検討し、修正したい。 <p>4. 第2章「市土の利用に関する基本構想」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P9「2.土地利用の基本方針」に都市地域（都市計画区域）という表現があり、これは都市地域を今後都市計画区域として指定するという意味であると思うが、この表記の仕方は問題になることはないのか。 （事務局）⇒「都市地域」は国土利用計画の用語であるが、それに対して「都市計画区域」と表現することは適切ではないと思うので、次回までに表現の仕方について検討したい。 ・国土利用計画では、都市地域や農業地域等、具体的に図面に線を引いて範囲を示すのか、あるいは抽象度を上げて概念的に示すのかどちらを想定しているのかお聞きしたい。 （事務局）⇒基本的に国土利用計画では都市地域、農業地域等の土地利用の範囲を図面に落とし込む必要はない。しかし、瀬戸内市としては図面として示した方が良いと考えており、今後事務局で検討したい。

- 都市地域を図面上に線を引いて明示する場合は、その範囲が都市計画区域になると思うため、良く考えて検討いただきたい。
(事務局) ⇒区域線については、県と協議しながら検討することになるが、都市計画区域は現時点では明確にはならず、具体的に都市計画区域の線を示すことができないので、図面に落とし込むのは困難であるように思う。
- P14「第2章3. (5) 公園・緑地」で、大きな公園をつくってほしいが、人口の増加が見込めない場合、小さな公園に収まってしまうと思った。大きな公園がなければ、人は集まらないと思うので、消極的な表現ではなく、期待を持つことができるような表現で大きな公園について言及していただきたい。
(事務局) ⇒公園の規模については都市計画で検討することになるため、現段階では、市全体としてどのような配置が望ましいかなど、次の都市計画の議論の土台となるような形で整理させていただきたい。
- 都市計画で整備する公園の規模は、周辺地域の人口規模で決まることになっている。補足として説明させていただいた。
- P12「第2章3. (2) 森林」について、「原生的な森林」という表現に違和感がある。「原始的」という言葉は、放棄された荒れた森林という意味として記載しているのか。
(事務局) ⇒森林には、人工林と自然林があるが、手つかずの森林を「原生林」として表現している。表現の仕方について今後検討したい。
- P15, 16「第2章3. 利用区別の市土利用の基本方向」で、「(9)低・未利用地」と「(10)沿岸域」という順番になっているが、「低・未利用地」は最後にある方が理解しやすくなるのではないか。
(事務局) ⇒「低・未利用地」、「沿岸域」の順番については、一般的な国土利用計画では、「沿岸域」を位置付けている事例がないため、瀬戸内市ならではのものとして最後に追加している。項目の順番については検討させていただきたい。
- P8「第2章1. 市土利用の基本理念」に基本理念「4つの地域の個性と強みが相互に連携した計画的な土地利用」と提示されているが、現時点の仮のものから最後までにブラッシュアップをしていくべきである。継続的に委員の皆様と考えていただき、このメッセージに対する意見を吸い上げて、まとめていく必要があると思う。
(事務局) ⇒基本理念について、事務局の意図としては、「4つの地域に特徴があること」、「4つの地域それぞれの魅力を活かし、一体的に連携することが大事であること」、「計画的に土地利用を進めることが大事であること」の3つをキーワードとして考えている。今後、事務局の意図も汲み取っていただき、基本理念に対して委員の皆様からご意見いただきたいと考えている。

- ・4つの地域の連携もキーワードと言っていたが、4つの地域の相互の連携とはなにかについても考える必要があると思う。
- ・4つの地域の連携について、どのような形で4つの地域をつなげていくかがまだ薄いと感じる。
(事務局) ⇒一度整理させていただき、またご提案させていただきたい。
- ・4つの地域の連携に関しては、現時点では連携の概念的なものがないので、4つの地域がどう連携するかをビジュアルで示していただく方が、話をしやすいと思う。
- ・基本理念に関しては、現時点のものは外部に公表したときに「4つの地域」が何か分からないと思う。「4つの地域」が何かを記載した方が、誰がみても理解できるものになると思う。文章の長さで分かりやすさのバランスについて検討していただきたい。

5. 第3章「市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要」について

- ・4地域の区分のうち、邑久西と邑久東の区域分けの根拠についてお聞きしたい。
(事務局) ⇒消防団のつながりなど地域コミュニティを基準として分けている。前々回審議会でも邑久西地域と邑久東地域の分け方についてのご質問があったが、邑久西地域は、邑久、福田、今城、笠加、豊原の範囲、邑久東地域は本庄、玉津、裳掛の範囲となっている。
- ・P20.21「第3章(2)地域別の概要」では、4地域の土地利用の基本方向を示しているが、牛窓と邑久東の見出しの文章の冒頭が「自然環境などを保全しつつ」と全く同じになっている。同じ文章にするのではなく、より4つの地域の個性を際立たせるような表現の方が良いと思う。
(事務局) ⇒実際に牛窓と邑久東で共通する課題や資源、取組があったりするため、同じ表現になってしまった。地域で違いはあると思うので、内容を整理し、次回までにまとめるようにしたい。
- ・P22「第3章(2)地域別の概要」の長船地域の現況に、「備前長船」という文言があるが、地域外の方は備前市と勘違いしてしまうのではないかと不安がある。どうすれば良いか。
(事務局) ⇒事務局としては、「備前長船」として書かせていただきたい。
- ・P22長船地域の現況の「備前長船」という文言について、「備前の国長船」という表現に修正すると、刀の歴史の観点では理解しやすくなると思う。
(事務局) ⇒表現について今後事務局で工夫させていただきたい。

- ・「第3章(1)市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」の令和15(2033)年の人口が概ね32,000人と記載されている。もう少し大きく設定しても良いと思った。
(事務局)⇒P18の目標年次に掲げている32,000人という数字は、瀬戸内市人口ビジョンにより設定されている数値である。人口減少の傾向はある程度は避けられないと考えている。瀬戸内市人口ビジョンにより設定された数値は、都市計画導入の決定前の目標数値である。あくまで過去の目標数字なので、もう少し希望の持てるような数値にすべきだと感じた。今後の宿題とさせていただきたい。
- ・P19「第3章(2)地域別の概要」について、地域の並び順が、牛窓から始まることに違和感がある。この並び順になにか意図があれば教えていただきたい。
(事務局)⇒地域の順番について、地域を分割したとき、北から順番に記載することが一般的であるが、これまでの資料でも牛窓地域から記載することが通例となっている。従来通りのルールを踏襲して書かせていただきたい。
- ・P22「第3章(2)地域別の概要」の長船地域の基本方向に、「備前長船の歴史的景観」という表現があるが、現況には歴史的なまちなみが記載されていない。長船地域の現況が他地域と比べると文章のボリュームが少ないので、現況と方向をしっかりと対応させて記載していただきたい。
(事務局)⇒長船地域の現況に歴史的なまちなみがない件については、内容が抜けていたので、追記させていただく。
- ・「低・未利用地」、「沿岸域」の順番に関して、瀬戸内市ならではの「沿岸域」が最後にある方が、瀬戸内市ならではのものとして目を引くように思う。最後に海の情景で終わるほうがさわやかだと思うので、良いと思う。
- ・4つの地域の色について、牛窓がピンクで邑久西がブルーとなっているが、土地利用のイメージを考慮すると色が逆に感じる。色の対応についても検討していただきたい。
(事務局)⇒4つの地域の色分けについては意図がないので、修正させていただきたい。

以上